

一西だより

豊川市立一宮西部小学校通信

令和6年10月25日 第22号

発行；校長 村上謙一

【子ども造形広場】

10月19日（土）と20日（日）の2日間、赤塚山公園他で市内小中学校の図工・美術作品展が開催されました。本校では2・4・6年生の作品が展示されました。たくさんの皆様にご参観いただきました。ありがとうございました。



自分がつくった
「スノードーム」
を教えてください



2年生の「すてきな
おさらになに
いれる？」



4年生の「世界に
一つだけのラン
タン」



6年生の「ぼく・わ
たしの鬼瓦」

【マラソン大会開催のお知らせ 第2弾】

前号（21号）ですすでにお知らせの通り、マラソン大会について、子どもたちは「形を変えて開催する」の決定をしました。教職員の予想を覆す決定です。

ウェルビーイングな思考力とエージェンシーのある行動力を育むのが今年の一西小の重点努力目標です。先生が決めたことをするのではなく、自分たちで様々な立場を配慮した最適解を決め、困難があってもやりとげる経験をさせることがこれらの力の育成につながると考えています。木村泰子先生に教えていただいた「本来、こどもが生まれながらにもっている主体性を奪わない」「大人も子どもも当事者意識をもつ」の2点にもつながります。

当日は当然うまくいかないことがたくさんあるはずですが、教職員・保護者・地域が三位一体となって、子どもの取組を支えたいと思います。失敗があったとしても、それは次の挑戦への糧になります。必要なのは批判ではなく励ましでしょう。

「コースは？」「競技形式は？」「時間内に競技は収まる？」「駅伝形式で競技した場合、欠席者があったらどうする？」一つ決めたら、次々と決めるべきことが生まれてきます。一つ一つ合意形成を図っていかねばなりません。実行委員会の原案は固まりつつありますが、児童集会で全校に向けて提案もしなくてはなりません。新しい挑戦には時間と手間がかかります。詳細は追ってお知らせします。